

2018年

236号

1月17日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

憲法改悪阻止の

勝負の年に！

今年こそ楽しい人生を！

新年を迎え心からお喜び申し上げます。昨年は国政選挙と越谷市長選挙があり、市民・市民と野党の共闘の力が大きく前進しました。全日本年金者組合もその一員として奮闘してきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。さて今年も憲法を改悪し、戦争への道へ安倍自公暴走内閣は突っ走ろうとしています。私たちは年金の切り下げをゆるさない運動と一体になって強化しなくてはなりません。今年は勝負の年になるでしょう。

この二つの闘いを前進させるには組合を大きくすることだと思います。「活動3分楽しみ7分」を生かし越谷市に年金者組合ありをつくり上げたいと思います。今年も組合員のみなさんとともに、身体を大切にしていきましょう。そして楽しい人生をおくりましょう。

二〇一八年元旦

年金者組合越谷支部長 吉田健治

賀正

支部長
副支部長書記長
書記次長

吉田 足立 森山 山本 五本 樋口 広瀬 吉田 和田

健活 秀司 勝郎 英範 光男 昭雄 久美 正雄 幸雄

執行委員

会計監査

大野 川原 栗原 木暮 瀬川 高木 保坂 松本 森東 伊東 小口

幸男 利郎 三郎 依子 常雄 一歩 久夫 秀夫 正人 文子

今年もよろしくお願ひします



執行委員の参加者を紹介する吉田支部長

市民と野党の共闘の発展で
国民本位の政治を取り戻そう！

越労連旗びらき

1月12日越谷コミセン・サンシティ「桐の間」で、越労連「新春旗びらき」がありました。参加者は約50名。そのうち年金者組合に籍がある方は16名でした。

点 睛

職場復帰を実現

私が定年までコンピュータ技術者として働いていた日本IBMのロックアウト解雇裁判の状況を、二年ぶりに報告させていただきます▼「ロックアウト解雇」とは10年、20年以上勤務してきた社員を終業時間の1時間ほど前に突然呼び出して「業績不良」を理由に解雇を通告し、その直後に同僚に挨拶をする間も与えずに社外に追い出すという乱暴なものです。社員証の磁気コードを無効にされると次から入る事はできません▼日本IBMは社員を5段階で評価し、低い二つのグループには社員の5〜15%が入っています。同社は、評価が2年連続で低い二つのグループだと「業績不良」として解雇します▼2012年7月以降の会社全体の被解雇通告者は50名にのぼり、そのうち解雇通告当時労働組合員であった者が34名で、まさに組合員を狙ううちにしたものでした。同社の社員数は約1万7千人。労働組合は一つで組合員は約百人です▼2年前に、ロックアウト解雇事件1次、2次訴訟をして5名全員に東京地裁は「業績不良」での解雇を解雇権の乱用という理由で無効とする判決をくだしました。昨年の12月26日、東京高裁でこの5人に対し和解が成立しました。▼ロックアウト解雇事件は1次から5次まで原告11名が訴訟を起こしていましたが、昨年の9月に第5次訴訟も原告が勝利し、1次から5次までの全ての勝利しています。人が和解し、3人が職場復帰しています。▼本件「ロックアウト解雇」は、米国の「解雇自由」に基づくIBMの日本流の「解雇自由」に対する挑戦でした。これを退けた点を弁護士は評価しています。第二次的安倍政権では、解雇ルールを緩和する動きが目立ちます。いま裁判で和解が不当とされた労働者に会社がお金を払って退職させる「金銭解決制度」の導入が検討されています。安倍首相の究極の狙いは米国の「解雇自由」ではないでしょうか。

次回の宣伝行動 2月21日(水曜日) 12時～13時 南越谷南口